

糖尿病の特効薬草 コンナルス・ルベ(通称:ミラルイラ)

コンナルス・ルベとの出会い(株式会社行医研 代表取締役 北村)

1998年夏、ブラジル帰りの友人から「面白い薬草がある」とお土産に貰ったのが始まりです。友人の話では、ブラジルマナウス原産のマメモドキ科の一種で現地ではすでに「糖尿病の特効薬」とされているということでした。

このレンガ色をした乾燥樹皮は、いかにも「効きそう」であったものの正直なところ、うさん臭さも感じていました。



研究・開発に着手

現地では、コンナルス・ルベの乾燥樹皮を煎じてお茶として飲んでいるそうです。本当に糖尿病に効くかはさておき、せっかくのお土産なので自分で飲んでみました。独特の風味があるが、まずくはなく、脂っこい食事には、よく合うのではないかと思う味でした。

残念ながら、健康である私では、効果が自覚できないので、後日糖尿病の友人にお裾分けすることにしました。しばらくするとその友人から驚きのコメントが届き、本格的にコンナルス・ルベの研究に着手することにしました。

友人曰く、「血糖値が緩やかに下がった!」・「インシュリン投与頻度が減った!」・「医者に通常では考えられないような改善が見られる!」等々。

本当に効くのか? 確固たるエビデンスの取得を目指して

株)行医研のスタッフを中心に、筑波大学、八戸高専、姫路獨協大学の諸先生方で研究チームを編成し、コンナルス・ルベの有効性評価を多角的に進めて参りました。

その結果、糖尿病に効く理由のひとつが α -グルコシターゼ阻害活性にあることが判明。さらに、アンチエイジングにつながる可能性がある抗酸化活性・抗糖化作用・DNA損傷抑制効果も見いだされました。

また、マウスを用いた行動研究で肥満やコレステロール過多による、自発活動性の低下(動くのが億劫になってしまう状態)が改善されることも確認できました。

現地ブラジルでもコンナルス・ルベの研究は進められており、国立アマゾン研究所(INPA)と零細・小企業支援機構(Sebrae)の研究チームがコンナルス・ルベは、「血糖値を正常に保ち、場合によっては、インシュリンが不要になるほど糖尿病に効くと発表しています。

何に使えるのか? 魅力ある商品への開発に向けて

弊社では、コンナルス・ルベを飲料(健康茶)の原材料として商品化へのサポートを致しました。

また、抗酸化作用やDNA損傷抑制効果に着目し、化粧品や外用薬の素材としての可能性についても検討を進めています。



研究・開発元: **KOUIKEN** 株式会社 行医研
〒673-0025 兵庫県明石市田町2-5-7

製造元: **株式会社丸和栄養食品**
〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井170番地の1

総販売元: 協同組合 **Masters**
〒550-0012 大阪市西区立売堀2-4-19
日東ビル2F
TEL(06)6110-8050 fax(06)6110-8055
<http://www.masters.coop>
e-mail: info@masters.coop